

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-015143
 (43)Date of publication of application : 20.01.1998

(51)Int.Cl. A63B 71/14

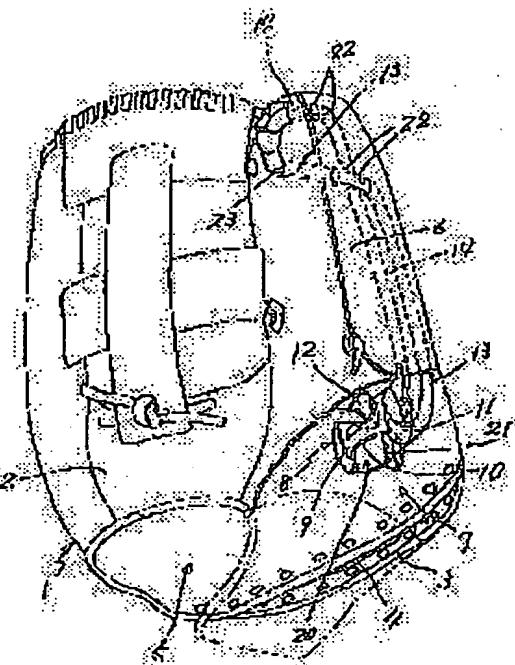
(21)Application number : 08-198407 (71)Applicant : DESCENTE LTD
 (22)Date of filing : 09.07.1996 (72)Inventor : NAKADA HISAO

(54) BASEBALL GLOVE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a baseball glove having a thumb fixing band capable of holding a thumb without obstructing the degree of the freedom thereof, and transmitting a thumb grip feeling to the end of a glove finger.

SOLUTION: A thumb fixing band 8 is arranged at the thumb holding position 7 of a glove body 1, and projected from one side of a center finger rest 9 across two of a first binding adjusting cords 10 and 11. Also, a second binding and adjusting cords 12 is projected from the center of the other side of the center finger rest 9 and glove finger end linkage cords 13 and 14 from both sides of the cord 12. Then, two of a first cord insertion hole and one of the second binding and adjusting cords 12 are made to intersect for forming a thumb insertion loop 20. This loop 20 is attached to the glove body 1 and the position thereof and the direction of the center finger rest 9 are adjusted and changed via the adjustment of the binding and knot length the binding and adjusting cords 12. Furthermore, the glove finger linkage cords 13 and 14 are used to insert and lead the thumb part 6 of the glove body 1 in and along the inner side of a palm inner member 4. Thereafter, the cords 13 and 14 are led out from the end of the thumb part 6 and tied, thereby forming a thumb linkage structure for adjusting the tension of the thumb part.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 22.08.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2814224

[Date of registration] 14.08.1998

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-15143

(43)公開日 平成10年(1998)1月20日

(51)Int.Cl.⁸

A 63 B 71/14

識別記号

府内整理番号

F I

A 63 B 71/14

技術表示箇所

F

審査請求 有 請求項の数2 FD (全4頁)

(21)出願番号

特願平8-198407

(22)出願日

平成8年(1996)7月9日

(71)出願人 591038820

株式会社デサント

大阪府大阪市天王寺区堂ヶ芝1丁目11番3号

(72)発明者 中田 久雄

大阪市天王寺区堂ヶ芝1丁目11番3号 株式会社デサント内

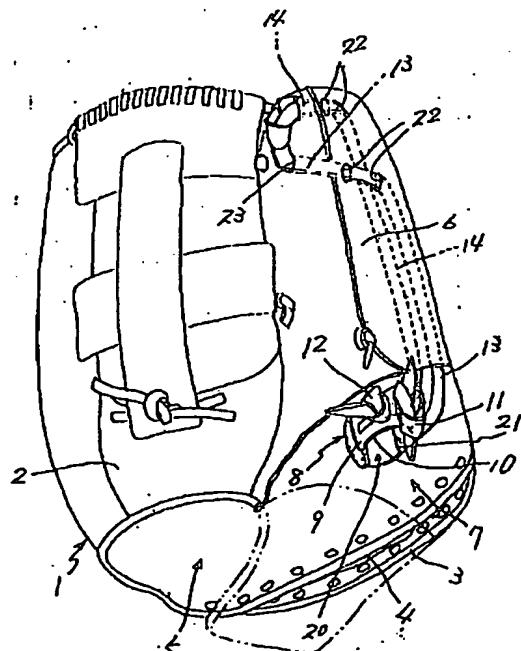
(74)代理人 弁理士 畠山 陸

(54)【発明の名称】 野球用グローブ

(57)【要約】

【目的】 親指の自由度を妨げることなく安定保持し、親指の握り感をグローブの指先まで伝播する親指固定帯を有する野球用グローブを提供する。

【構成】 グローブ本体1の親指保位置7に親指固定帯8を設ける。親指固定帯は、中央指受9の一側から二本の第一結索調節紐10, 11を離間突出し、他側の中央から第二結索調節紐12を、その両脇からグローブ指端連繩紐13, 14を突出する。二個の第一紐挿通孔16, 17と一個の第二結索調節紐12を交差して親指挿通ループ20を形成し、グローブ本体1に取付け、結索調節紐の結索と結び目長さの調節によって親指挿通ループ20の位置と中央指受9の向きを調節変更する。グローブ指端連繩紐13, 14は、グローブ本体1の親指部6を掌内材4の内側に沿って内部を挿通経由せしめ、親指部6の先端から挿出して結索し、親指部の緊張力を調節する親指連繩構造に構成することを特徴とする。



2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 グローブ本体掌挿入部部の親指部基部に対応位置する親指保定位に構成する親指固定帯において、

皮紐材によって構成した前記親指固定帯の中央指受の両側から結索調節紐を突設し、該結索調節紐を前記グローブ本体に穿設した紐押通孔に刺通して紐自体に結び目を作るかまたは紐相互を結索して位置及び姿勢調節可能になる親指押通構造を構成すると共に、
前記中央指受の一側から突出した一本または二本のグローブ指端連繩紐を、グローブ本体の親指部を掌内材の内側に沿って内部を押通せしめ、該親指部の先端から押出して結索し、親指部の緊張力を調節する親指連繩構造になる親指固定帯を構成したことを特徴とする野球用グローブ。

【請求項2】 前記親指固定帯が、中央指受の一側から二本の第一結索調節紐を離間して突出し、他側の中央から第二結索調節紐を突出すると共に、該第二結索調節紐の両脇からそれぞれグローブ指端連繩紐を突出した構造になり、グローブ本体に対して二個の第一紐押通孔と一個の第二結索調節紐を交差してループ状の親指押通ループを形成し、第一結索調節紐の結索と第二結索調節紐の結び目長さの調節によって親指押通ループの位置と前記中央指受の向きを変更調節することを特徴とする請求項1記載の野球用グローブ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、親指を安定保持すると共に、親指の握り感をグローブの指先まで伝播するようにした野球用グローブに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 一般に野球競技用のグローブやミット(以下、「グローブ」と称する)には親指押通位置に親指固定帯が設けられており、競技者はこの親指固定帯に親指の腹を引っ掛けたまま装着している。該親指固定帯の調子によって捕球の具合が微妙に変わるために、従来より一部をグローブ本体側に縫着し、一端または両端に設けた縛着用の紐によって連結し、調整する構造もつたものが案出され実用に供されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、上記親指固定帯の構成では、該親指固定帯がその一部をグローブ本体に縫着固定してあるため、一端または両端に連繩した縛着用の紐を引き締めたり緩めたりして親指のホールド感を変えることができても、ホールドの向きを変えることができず、今一つしっくりしないといった問題を有していた。

【0004】 本発明は、上記問題に鑑みてなされたものであり、親指の自由度を妨げることなく安定保持する親指固定帯を構成した野球用グローブを提供することを目

的とするものである。

【0005】 また本発明は、上記親指固定帯により親指の握り感をグローブの指先まで伝播するようにした、新規構造の野球用グローブを提供すること目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明に係る野球用グローブは、グローブ本体掌挿入部部の親指部基部に対応位置する親指保定位に構成する親指固定帯において、皮紐材によって構成した前記親指固定帯の中央指受の両側から結索調節紐を突設し、該結索調節紐を前記グローブ本体に穿設した紐押通孔に刺通して紐自体に結び目を作るかまたは紐相互を結索して位置及び姿勢調節可能になる親指押通構造を構成すると共に、前記中央指受の一側から突出した一本または二本のグローブ指端連繩紐を、グローブ本体の親指部を掌内材の内側に沿って内部を押通せしめ、該親指部の先端から押出して結索し、親指部の緊張力を調節する親指連繩構造になる親指固定帯を構成したことを要旨とするものである。

【0007】 上記親指固定帯は、中央指受の一側から二本の第一結索調節紐を離間して突出し、他側の中央から第二結索調節紐を突出すると共に、該第二結索調節紐の両脇からそれぞれグローブ指端連繩紐を突出した構造になり、グローブ本体に対して二個の第一紐押通孔と一個の第二結索調節紐を交差してループ状の親指押通ループを形成し、第一結索調節紐の結索と第二結索調節紐の結び目長さの調節によって親指押通ループの位置と前記中央指受の向きを変更調節することを要旨とする。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、本発明野球用グローブの好ましい実施例を図面に従って説明する。本実施例は内野手用グローブに実施したもので、グローブ本体1は、掌甲側を形成する表革2、掌腹側を形成する裏革3、及び該裏革3の内側に並設される掌内材4によって構成される。

【0009】 符号5はグローブ本体1の掌挿入部であり、該掌挿入部5の親指部6基部に対応位置する親指保定位7に本発明の親指固定帯8が設けられている。

【0010】 親指固定帯8は図2に示すように、皮紐材の中央指受9の一側から二本の第一結索調節紐10、11を離間して突出し、他側の中央から第二結索調節紐12を突出すると共に、該第二結索調節紐12の両脇からそれぞれグローブ指端連繩紐13、14を突出した構造になる。尚、図15は上記中央指受6に捲回縫着する補強指当である。

【0011】 上記親指固定帯8は、親指保定位7の表革2に穿設した三箇所の孔のうち、端寄りの二箇所の第一紐押通孔16、17に第一結索調節紐10、11を内側から外側に向かって押出し、両結索調節紐10、11相互を表革2の面で結索する。また縁から離れた方に穿設し

た第二紐押通孔18には、掌内材4に穿設したスリット孔19、19を押通した第二結索調節紐12が内側から外側に向かって押出し、該第二結索調節紐12自体を表革4の面の位置で結び目を構成して結索する。

【0012】この各結索調節紐10、11、12の結索配置によって、第二結索調節紐12は両第一結索調節紐10、11の離間部を交差して親指押通ループ20を形成するようになり、第一結索調節紐10、11の結索と第二結索調節紐12の結び目長さの調節によって親指押通ループ20の位置と中央指受9の向きを微妙に変更調節することができる。

【0013】また上記二本のグローブ指端連繩紐13、14は、掌内材4のスリット孔21を押通経由した後、グローブ本体1の親指部6を先端に向かって掌内材4の内側に沿って内部を押通し、親指部6の表革2先端に穿設したスリット孔22、22…を経由して連繩紐押通孔23、24から押出し、表革2の面で両紐を相互に結索して緊張力を調節する構造になる。

【0014】上記親指固定帯8は、第一結索調節紐10、11と第二結索紐12によって親指押通ループ20を形成するようにグローブ本体1に取り付けられており、縫着等によって中央指受9が固定されていないから、第一結索調節紐10、11の結索と第二結索調節紐12の結び目長さの調節によって親指押通ループ20の大きさを調節して使用者の親指の大きさに適合させることができると共に、親指押通ループ20の位置と中央指受9の向きを微妙に変更調節することができるため、使用者の親指位置と向きを最適に保持することができる。

【0015】第一結索調節紐10、11と第二結索紐12によって親指固定帯8がグローブ本体1に三点取付されているから、取付バランスが保持されてグローブに対する親指の一体感が増長される。

【0016】また上記構成では、二本のグローブ指端連繩紐13、14を介して親指押通ループ20がグローブ本体1の親指部6先端と連繩しているため、使用者の親指の動きがグローブの先端と連動するよう作用する。更に、長期間の使用に際して、グローブの芯材の緩みや皮革のへたりが発生した場合、該両連繩紐押通孔23、24を緊結索することにより、親指部6の補強をすることが可能となる。

【0017】尚、本実施の形態の説明では野球用グローブについて述べたが、野球用ミットにも同様の親指固定帯8の構造を構成することができることはいうまでもない。

【0018】

【発明の効果】以上述べたように本発明に係る野球用グ

ロープは、親指を押通する親指固定帯が、一端に突設した二本の第一結索調節紐と他端に突設した第二結索紐によって親指押通ループを形成するようにグローブ本体に取り付けられており、縫着等によって指受部が固定されていないため、親指押通ループの大きさを使用者の親指の大きさに適合させることができると共に、該親指押通ループの位置と向きを微妙に変更調節することが可能となり、使用者の親指位置と向きを最適に保持することができる。

【0019】従って、使用者の掌の親指とグローブの親指との一体感が得られ、同時にグローブの親指の動きが確実で迅速になり、落球等のエラーを防止することができる。

【0020】また、親指押通ループから延びる二本のグローブ指端連繩紐がグローブの親指部を押通し、先端で両紐を相互に結索して緊張力を調節する構造になっているため、該両連繩紐押通孔を緊結索して親指部の補強をすることができる、径年使用に際するグローブの芯材の緩みや皮革のへたりを補正し、グローブ全体の耐久性を増長することができる等の特徴を有するものであり、本発明実施後の効果は極めて大きい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例を示す野球用グローブの一部切欠した斜視図である。

【図2】親指固定帯の展開した斜視図である。

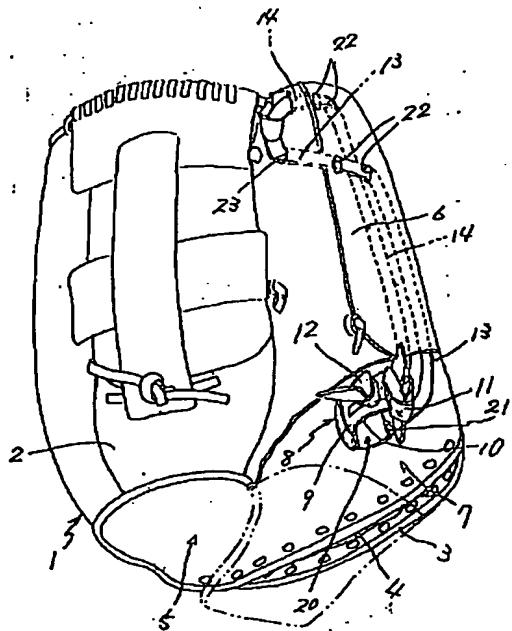
【図3】親指固定帯の結索及び結び目を解いた状態のグローブの斜視図である。

【図4】親指固定帯の親指押通ループの取付構造を示す要部拡大断面図である。

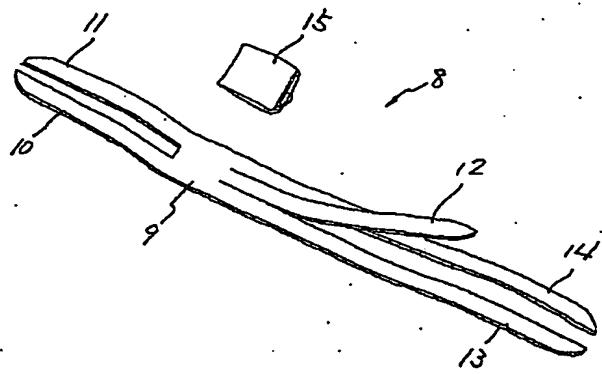
【符号の説明】

- 1 グローブ本体
- 2 表革
- 3 裏革
- 4 掌内材
- 6 親指部
- 8 親指固定帯
- 9 中央指受
- 10, 11 第一結索調節紐
- 12 第二結索調節紐
- 13, 14 グローブ指端連繩紐
- 16, 17 第一紐押通孔
- 18 第二紐押通孔
- 19 スリット孔
- 20 親指押通ループ
- 21 スリット孔
- 22 スリット孔
- 23, 24 連繩紐押通孔

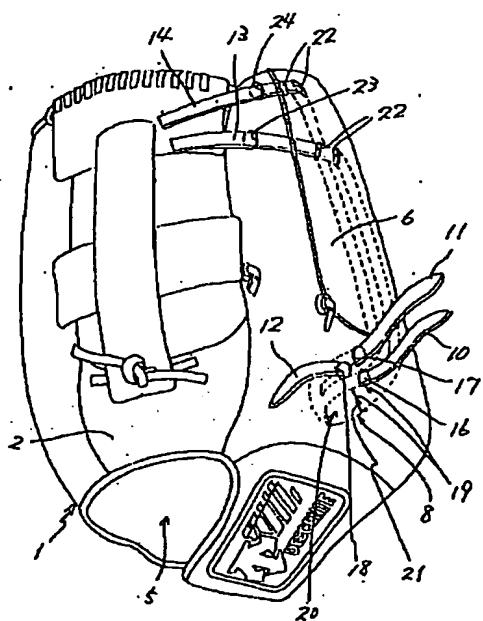
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

